

農を活かした健康福祉の里づくり事業

発行日:2024 年 3 月

編集・発行:北中城村役場 農林水産課

住所:北中城村字喜舎場 426-2

電話:098-935-2260

FAX:098-935-5536



【健康・福祉の里プロジェクトとは】

- 農を中心とした「食・育・観・住」連携による健康・福祉の里づくりとして、以下の4つのテーマに関する取り組みを段階的にすすめることで「北中城みらいづくり」の実現を目指します。
- 具体的な施設整備等は、4つテーマに基づき、6段階に分けて進めていきます。
- 現在、第一～三段階の事業者が決まり、第一段階は、施設整備が進んでいます。



■本事業で達成すべき4つのテーマ

- 1) 村の農産物やエネルギーの地産地消/6次産業化商品
- 2) 農を活かした心身の健康増進
- 3) 村内外に北中城の魅力を伝える観光・体験型の場
- 4) 農を中心とした人と人との交流ある村での暮らし



全国から注目！バイオサイクルセンター(第一段階の事業)

- ・第一段階の事業者である株式会社 EM 研究機構により、事業が進められています。
- ・中央のバイオサイクルセンターでは、生ごみなどの食品残渣から、発電するバイオガス発電設備とバイオスティミラント製造設備、微生物培養設備、管理室兼事務所が一体的に整備されます。
- ・発電設備からの排出物を活用し、堆肥や液肥などの副産物へリサイクルし、村の有機農業の推進に役立てる予定です。
- ・全国的にも先進的な施設で、既に自治体関係者など多数の視察団が村を訪れています。
- ・本事業では、食・農・エネルギーの地産地消を進め、持続可能なむらづくりを行っていきます。



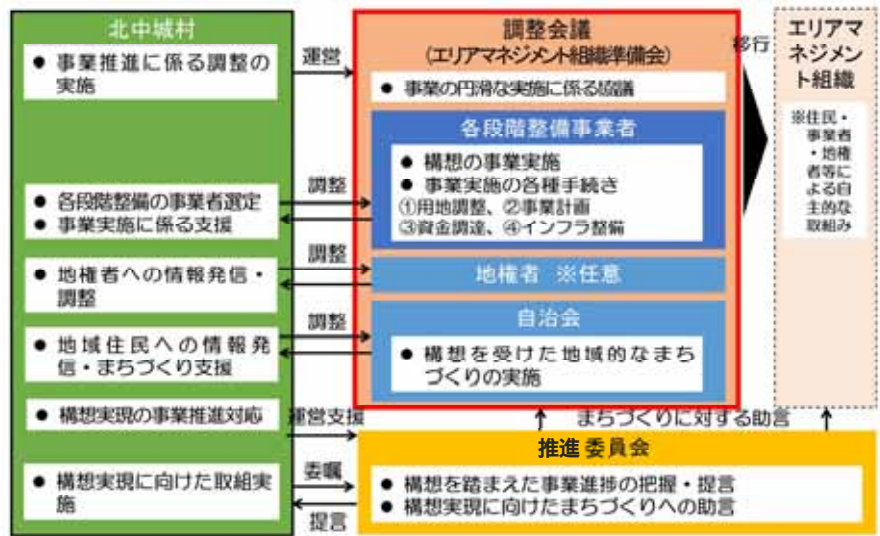
トピックス: 第一段階は予定とおりに進んでいます！

- ・バイオガス発電施設の造成工事は、2023年12月末で終了しました。
- ・三育小学校との連絡通路も2023年12月に完成しています。現在は、3月末に6年生の収穫体験に向けた作付け中です。来年度は学童農園のテスト期間として取り組み、様々な調整を行っていきます。
- ・2024年3月に ICT 太陽光型水耕栽培施設が完成予定です。水耕栽培施設では有機肥料によりトマトの栽培を検討しております。
- ・バイオガス発電施設は、2024年10月に試験的に稼働する予定です。



本事業は、事業者等による調整会議を中心に、本村と推進委員会が支援するカタチで推進します。

- ・事業者及び自治会等による調整会議は、1回/月で開催しています。
- ・推進委員会は、3回/年開催し、2023年12月に造成工事がほぼ終わった現地を視察しました。
- ・2月14日(水)に第3回推進委員会が役場の会議室で開催されました。
- ・推進委員会では、本事業の利用者像や地区内外の移動手段、第四段階以降の整備の進め方、本事業のランドデザイン(案)などについて話し合われました。



北中城村農産物フェアで本事業のパネルが展示されました。

- ・2月10日(土)に北中城村農産物フェアが開催され、本事業のパネル展示と事業紹介パンフレットが配布されました。
- ・「知らなかったので情報周知を強化してほしい」、「自治会でも説明会を実施してほしい」、「住みたい人は多いと思う」などの声が寄せられました。



荻道自治会・大城自治会のイベントで情報発信しました。

- ・令和5年11月25日(土)～26日(日)に荻道自治会総合展示・即売会と第18回大城スーパージュニア美術館にて本事業の概要紹介パネル展示と事業紹介パンフレットを配布しました。
- ・「地域の特産となる品目を選定したい」、「地区からの移動手段や宿泊機能が必要」、「緑を活かした開発をしたい」、「住宅地ができることが望ましい」などの声が寄せられました。



役場のホームページで事業概要が紹介されています。

- ・令和6年1月16日(火)より、村役場のホームページで「農を活かした健康福祉の里づくり事業」の紹介が始まっています。
- ・「事業概要」からは、第一～第六段階までの詳しい計画を知ることができます。

(二次元コードはこちら)

